校長挨拶

本埜小学校2年目になります、市原康之です。

学校教育目標『ふるさと本埜を誇りとし 次代を皆で生き抜く 児童の育成』の達成のため、教職員24名が「チーム本埜小」として力を合わせ、精一杯取り組んで参ります。そして、子供たちが「今日も学校に行って良かった」保護者が「今日も学校に行かせて良かった」と思える学校を皆で作っていきたいと思います。

令和7年度も本校の教育活動への変わらぬ御支援・御協力のほど、宜しくお願いいたします。

- (1)「社会に開かれた教育課程」の実現に向けたカリキュラムマネジメントの確立のため、保護者や地域の皆様に向けて学校ホームページや学校便り等を活用して子供たちの日常の様子や、授業の様子、教育課程に関する情報を積極的に発信します。
- (2)「確かな学力」を育むため、本年度は特に「基礎・基本の定着」に取り組んで参ります。児童の基礎力として、「教科書の文章を正確に理解できるようにする力の育成」を育むため、「北総版・指導実践アイデア集」の活用を中心に、授業改善（ノート指導の充実・ICTの活用）を重点目標にしていきます。
- (3)「豊かな心」を育むため、本埜っ子の合い言葉「もっと優しい子」を日々の生活で意識できるよう、明るい挨拶ができる、人に感謝できる（「ありがとう」を伝えることができる）、一生懸命に掃除ができる児童を育てて参ります。子供たちが安心して学校生活で思いやりをもって人と関われるよう、「いじめを許さない風土の醸成」に全力で当たります。また、特別の教科道德の推進を図っていきます。
- (4)「健やかな体」を育むため、食に関する指導を充実させたり、運動に親しむ環境の整備をしたり、安心・安全に学校生活が過ごせるよう、人権意識の高い、信頼される学校作りに尽力して参ります。

本埜の「も」もっと優しい子、本埜の「と」とともに学ぶ子、本埜の「の」のびのびと活動する子の育成のため、地域全体で子供たちの学びや成長を支えていけるよう、お力添えの程、宜しくお願いいたします。